

宮島歴史散歩マップ

だい がん じ おお もと じん じゃ
～大願寺から大元神社まで～



令和5年(2023)3月
県立広島大学宮島学センター

宮島学センターの活動については、こちらのサイトをご覧ください。
<http://mjp.pu-hiroshima.ac.jp/mjarchive/>



このマップでは、以下の場所について解説をしています。

だい がん じ
① 大願寺

た ほう とう
② 多宝塔

おお もと じん じゃ
③ 大元神社

おお もと こう えん すい ぞく かん
④ 大元公園・宮島水族館

にしのまつ ばら
⑤ 西松原

きよ もり じん じゃ
⑥ 清盛神社

いつくしま じん じゃ ほう もつ かん
⑦ 厳島神社宝物館

れき し みる ぞく しりょう かん
⑧ 宮島歴史民俗資料館

このマップよりも詳しい情報が必要な方は、
こちらのQRコードを読み取ってください。



宮島歴史散歩マップ



① 大願寺



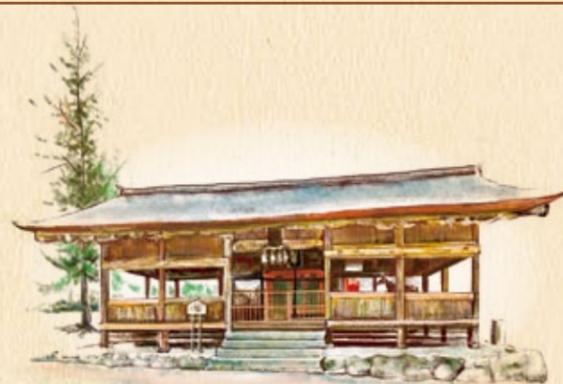
亀居山放光院 大願寺は、真言宗の寺院です。開かれた時期は不明ですが、鎌倉時代の建仁年間(1201～1203)に僧了海によって再興されたと伝わります。秘仏である嚴島弁財天像を祀り、竹生島・江ノ島とともに日本三大弁財天に数えられています。ご本尊は木造の薬師如来像で、国の重要文化財に指定されています。

② 多宝塔



多宝塔は、嚴島神社の西の丘に立つ高さ15.6mの二重塔で、国の重要文化財に指定されています。かつて多宝塔の内部には本尊薬師如来像(伝行基作)が安置されていましたが、明治元年(1868)に出された神仏分離令によって、大願寺に遷されました。

③ 大元神社



大元神社は嚴島神社に連なる摂社で、本殿は国の重要文化財に指定されています。御祭神は国常立尊、大山祇神、保食神で、相殿には嚴島神社を創建したとされる佐伯鞍職が祀られています。大元神社の拝殿には、愛嬌のある表情をした木馬も置かれています。また、「御島廻」と記された扁額がたくさん奉納されています。

④ 大元公園・宮島水族館



大元神社を中心とする大元公園の一角には、モミ、ツガ、カヤなど冷涼な山地に生育する針葉樹が自生しており、植物学上、貴重な植生を保っています。宮島水族館は、「みやじマリン」の愛称で親しまれ、「いやし」と「ふれあい」を基本理念に、瀬戸内海の特徴を中心に構成されています。

※宮島水族館の入館案内については、同館のホームページ等でご確認ください。

⑤ 西松原



西松原は、嚴島神社の西側の砂浜に立ち並ぶ松林です。松原の先端部分は、昭和20年(1945)の枕崎台風による土石流の残土を使用して築かれました。

松林の間には百余りの石灯籠が立ち並んでいます。西松原の先端付近には英語で「Quni HILO,HAWAII」と刻まれた石灯籠もあります。散歩がてらに、ぜひ探してみてください。

⑥ 清盛神社



嚴島神社を有する宮島の最初の繁栄は、平清盛を中心とする平家の嚴島信仰によってもたらされました。昭和27年(1952)は、平清盛没後770年に当たり、宮島町では「清盛公奉賛会」を結成し、清盛の遺徳を称え御神霊を慰める清盛祭を盛大に執り行いました。毎年、清盛の命日にあたる3月20日に「清盛神社祭」が執り行われています。

⑦ 嚴島神社宝物館



嚴島神社には、国宝平家納経をはじめとする宝物が約4500点収蔵されており、そのうち130点余りが国宝や重要文化財に指定されています。宝物館には、その一部が保存・展示されています。宝物館の建物は、形態や意匠が特徴的で、国の登録有形文化財(建造物)となっています。

※宝物館の入館案内については、同館のホームページ等でご確認ください。

⑧ 宮島歴史民俗資料館

(旧江上家住宅)



宮島歴史民俗資料館には、宮島の歴史・文化・民俗に関わる多彩な資料が展示されています。展示施設の一部には、江戸時代後期から明治時代にかけて醤油の醸造を営み、豪商といわれた旧江上家の主屋と土蔵が利用されています。主屋にあたる「保存民家」は国の登録有形文化財(建造物)となっています。

※宮島歴史民俗資料館の入館案内については、同館のホームページ等でご確認ください。